

くすりの街・道修町散策

1. 期 日 令和5年10月20日(金) 天候;曇
2. 参加者 4名(梶木、小林、長谷川、菊池)
3. スケジュール

地下鉄「淀屋橋」駅11号出入口、9:45 集合

- ① 旧小西家住宅資料館 10:00~11:10
- ② 塩野義製薬本社展示コーナー 11:15~11:30
昼食;近くの食事処で 11:35~12:05
- ③ 住友ファーマ展示 Gallery 12:10~12:20
- ④ 武田科学振興財団 杏雨書屋 12:20~12:40
- ⑤ 田辺三菱製薬資料館 12:50~13:40、
少彦名神社 参拝
- ⑥ くすりの道修町資料館 13:50~14:30 解散



= 道修町ミュージアムストリート =

道修町通り(どしょうまちどおり)には、医薬品に関する展示施設が複数あります。それらの施設をつなぐ約300Mの通りを「道修町ミュージアムストリート」と呼んでいます。

大阪の道修町は江戸時代から薬種問屋が軒を連ね、現在も多く製の製薬会社の本支店がある「くすりのまち」として知られています。

この道修町にある、「くすりの道修町資料館」(少彦名神社に併設)をはじめ道修町に縁の深い老舗製薬会社などの展示施設で日本の薬業とともに歩んできた道修町の歴史、当時の文化・生活、今に至る医薬品の話など「道修町」と「くすり」に関するさまざまな情報が、所蔵する貴重な資料や写真、道具類などを用いて展示・無料公開されています。

① 田辺三菱製薬史料館

本社ビル2階にある史料館では、「くすりの町道修町」の歴史と文化を紹介し、1678年創業から現在までの田辺三菱製薬のあゆみと企業活動を紹介しています。創業から使用していた木製の軒下看板や勅許看板、明治の田邊五兵衛商店の店先再現などを展示しています。子供も楽しく学べる薬や体に関するクイズのコーナーもあります。

② 塩野義製薬本社展示コーナー

本社ビル1階ロビーの展示コーナーでは、SHIONOGIの商標である分銅の実物や大福帳などのほか、二代塩野義三郎が収集した江戸～明治時代に作成された「絵びら」や「引き札」などを展示しています。これらは近代広告の先駆けで、歴史資料としての価値だけでなく、美術品としても評価されています。

③ 住友ファーマ展示 Gallery

道修町の有力薬業家により創立された当時の精神を受け継ぎ、革新的な医薬品を供給し続ける住友ファーマの100年を超えるあゆみを一般の方々にご紹介します。くすりの道修町の理解を深めていただくために、大阪本社ビル1階の展示スペースに模型や展示パネル、動画上映、写真映写を展示しています。ビル外側のガラス張り部分からご覧いただけます。

④ 武田科学振興財団 杏雨書屋

杏雨とは杏林(医学界)を潤す雨の意で、五代武田長兵衛氏が関東大震災で貴重な典籍が灰燼(かいじん)に帰したことを痛嘆し、本草医書の散逸を防ぐ為に私財を投じ文庫を形成したのが杏雨書屋の始まりです。春秋年2回の特別展示会と研究講演会を開催し、常設展では医学・薬学の古典籍、掛軸、道具類などを展示しています。展示室は自由に見学していただけます。

⑤ くすりの道修町資料館

くすりの神様をお祀りした少彦名神社の社務所ビル3階にあり、館内には道修町に関する様々な資料・パネルが展示され、50インチの大型モニターで江戸時代からの歴史を紹介する「道修町劇場」は大変人気があります。年2回春と秋に展示品を入れ替えています。

⑥ 旧小西家住宅史料館

1903年に完成し2001年に国の「重要文化財」に指定されたコニシ株式会社の旧社屋です。空襲や震災をくぐり抜け、往時の姿を現代に伝える住宅の一部を実際に見学していただけるほか、1870年に薬種商として創業し、現在は合成接着剤「ボンド」のメーカーとして知られているコニシのあゆみを、映像やパネルでご紹介します。

